

月刊

部活動としての軽音楽を支援する情報マガジン

軽音楽部

発行：特定非営利活動法人 全国学校軽音楽部協会
全国2,000校に配付中！



写真は第9回 高等学校軽音楽コンテスト中部大会でグランプリを受賞した浜松学芸中学校・高等学校のSatuneです

2024
5
VOL.74
since 2013.DEC

部活動としての軽音楽を考える

生徒の「自主自律の運営」が部活動の基本
部活動を通していかに生徒を育てるか
協同性を基盤とした生徒主体の活動
軽音楽を「部活動」にする時に注意すべき点
春の3大会の感想を大会審査員が振り返る

部活動の大会としての審査基準
アンサンブルが良くなる指導方法
軽音楽部を通じた人材育成の取り組み
軽音協イベント・カレンダー

目標に向かって、チャレンジしよう！

QRコード

第8回
高等学校軽音楽コンテスト
近畿北陸大会

2024 7.31 WED 入場無料 10:00-17:00
会場：舞鶴市総合文化会館大ホール
京都府舞鶴市字浜2021

主催：特定非営利活動法人全国学校軽音楽部協会 / 公益財団法人 かけはし芸術文化振興財団

後援：文化庁、京都府教育委員会、兵庫県教育委員会、和歌山県教育委員会、滋賀県教育委員会、福井県教育委員会、石川県教育委員会、岐阜県教育委員会

お問い合わせ：特定非営利活動法人 全国学校軽音楽部協会
TEL: 045-913-0901 info@ksakyo.org

QRコード

第10回
高等学校軽音楽コンテスト
中部大会

2024 8.3 SAT 入場無料 12:00-18:30
会場：愛三文化会館
もちのきホール
愛知県大府市明成町1-330

主催：特定非営利活動法人全国学校軽音楽部協会 / 公益財団法人 かけはし芸術文化振興財団

後援（一部要約）：文化庁、愛知県高等学校文化連盟、愛知県教育委員会、岐阜県教育委員会、静岡県教育委員会、三重県教育委員会、北陸県教育委員会

お問い合わせ：特定非営利活動法人 全国学校軽音楽部協会
TEL: 045-913-0901 info@ksakyo.org

QRコード

第5回
高等学校軽音楽コンテスト
関東大会

2024 8.25 SUN 入場無料 10:00-18:30
会場：国立オリンピック記念青少年
総合センター 大ホール
東京都渋谷区代々木神園町3-1

主催：特定非営利活動法人全国学校軽音楽部協会 / 公益財団法人 かけはし芸術文化振興財団

後援：文化庁、日本工科大学専門学校、日本工科大学八王子専門学校、専門学校東京ビジュアルアーツ、ギブソン・フランス・ジャパン株式会社

お問い合わせ：特定非営利活動法人 全国学校軽音楽部協会
TEL: 045-913-0901 info@ksakyo.org

QRコード

第2回 全国高等学校軽音楽部
オリジナルソング・グランプリ

応募締切
8/31(土)



特定非営利活動法人 (NPO法人)
全国学校軽音楽部協会

それぞれの大会の実施要項は
ホームページをご覧ください

全国の中高大学の 軽音楽部を支援する協会

現在、全国の高等学校では軽音楽系の部活動が活発に行われ、多くの生徒が軽音楽を通して様々なことを学んでいます。それは、軽音楽部が学校教育の一環として、「自主性」や「責任感」の伴う活動が学習意欲の向上につながり、「コミュニケーション(意思伝達)」「クリエイティビティ(創造力)」「チームワーク(協働)」「エンターテインメント(顧客満足)」といった社会で必要とされるスキルを育てることができる部活動であると認知されてきたからだと思います。私たちは、情報誌の発行、大会や合同演奏会の開催、生徒や顧問への各種クリニックや講習会の開催、軽音楽連盟発足の支援などを行ってきました。今後も不特定、かつ多数の公益に寄与しながら、軽音楽を通して青少年の健全な育成を目指していきます。

Mission ～理念～

軽音楽部の諸活動を通して若い人材を育てる

Vision ～目標～

- 1 軽音楽部の学校内外における認知向上を図る
部活動としての歴史が浅い軽音楽部は、偏見もあり一般的に正しい認知が低いのが現状です。軽音楽を通じた部活動の有意義さを学校内外へ広めていきます
- 2 社会や地域貢献を視野に入れた部活動の提案
軽音楽部の活動範囲は、日々の練習や演奏会出演、大会への参加だけにとどまらず、地域や行政とのつながりを生みます。軽音楽部の活動を通じた社会貢献を応援します
- 3 生徒による自主、自律した部活動運営の支援
グローバルな視点からの上位下達ではなく自主的に動ける人間、これからの日本社会が必要とする自律した人間育成を目的とした部活動運営の支援をします

ご支援いただいている特別賛助会員の皆様 (敬称略/順不同)

株式会社ミュージックネットワーク	専門学校大阪ビジュアルアーツ・アカデミー
公益財団法人かけはし芸術文化振興財団	名古屋スクールオブミュージック&ダンス専門学校
一般社団法人サトヤマカイギ	ギブソン・ブランド・ジャパン株式会社
大阪音楽大学	フェンダーミュージック株式会社
名古屋芸術大学	有限会社エムエージー
宝塚大学	株式会社トップトラベルサービス
日本工学院専門学校/日本工学院八王子専門学校	株式会社福々家(モアリゾート、ホテル寺尾温泉)
専門学校 ESP エンタテインメント東京	株式会社サウンドハウス
専門学校東京ビジュアルアーツ・アカデミー	音楽ロッヂ ゆうげん荘
専門学校名古屋ビジュアルアーツ・アカデミー	株式会社オーティーズ

特定非営利活動法人
全国学校軽音楽部協会
keionkyo.org



部活動としての軽音楽を考える

interview



生徒の「自主自律の運営」が部活動の基本...4

愛知県高等学校文化連盟軽音楽専門部 部長 佐藤大介
愛知県立春日井高等学校 教諭



部活動を通していかに生徒を育てるか...6

神奈川県高等学校文化連盟軽音楽専門部 前会長 井坂秀一
神奈川県立柏陽高等学校 前校長



協同性を基盤とした生徒主体の活動...8

静岡県高等学校文化連盟軽音楽専門部 委員 鈴木椴宇
浜松学芸中学校・高等学校 ポピュラー音楽部 顧問

軽音楽を「部活動」にする時に注意すべき点...10

春の3大会の感想を大会審査員が振り返る...12

部活動の大会としての審査基準②...14

アンサンブルが良くなる指導方法②...15

軽音楽部を通じた人材育成の取り組み...16

軽音協イベント・カレンダー...17

音楽/エンタメ業界の仕事 2024

業界全般

日本工学院専門学校/日本工学院八王子専門学校...20

音響業界

専門学校名古屋ビジュアルアーツ・アカデミー...22

From Chief-In-Editor

軽音楽部の活動が一般にも認知され始めた?!

前号から本誌の内容を一新し、紙メディアのコンテンツの軸を生徒から顧問の先生に切り替えて約1ヶ月が経過しました。編集部には静かな、しかし確実な反響が届いており、新しい船出が祝福、歓迎ムードであることを強く実感しております。また、部活動の定義や活動の輪郭を論じれば論じるほど、人間的な成長にとって軽音楽部の緒活動が教育的に思ってしまうのはボクだけでしょうか...笑。※生徒向けにはデジタルコンテンツを用意しており、当協会のホームページや誌面のQRコードからアクセスできます。

過日、近畿北陸、中部、関東に於ける当協会主催の春の大会が無事に終了しました。回を重ねる度に感じるのは、生徒の演奏レベルや楽曲の完成度の向上っぷりで、ただただ感心するばかりです。最近の傾向としては、オリジナル楽曲でチャレンジする学校やバンドが増加傾向にあり、クリエイティビティを発揮できる部活動=軽音楽部の面目躍如というところ。ともあれ、生徒に伸び代があるというか、すぐに吸収して、あっという間に成長する今どきの高校生の成長力には驚かされます。

お陰様で、今回の大会では開催地の市長をはじめ、文部科学省

や文化庁などから多くの来賓に来ていただきました。当協会のミッションに、軽音楽部の学校内外における認知向上を図るというものが、軽音楽部の認知を上げるには軽音楽部界以外の方々に会場まで来てもらい、現在の軽音楽部の活動を見ていただくのが手っ取り早いと考えています。ここ最近、軽音楽部の印象が高まってきているからこそ、会場に足を運んでいただけるのだと勝手に想像すると、軽音楽部の認知が上がっていることと符牒が合いますね...笑。いわゆるオピニオンリーダーの方々を知ってもらうことが軽音楽部の認知や地位向上に繋がり、それが現在約4割に過ぎない軽音楽部の普及率を、ほぼすべての高等学校に軽音楽部が設置されることを夢みながら活動しています。



三谷佳之

特定非営利活動法人全国学校軽音楽部協会 理事長

Email mitani@keionkyo.org
Facebook yoshiyuki.mitani
Instagram mitani.yoshiyuki
X (Twitter) @mitaniyoshiyuki

学校教育の視座

「当たり前」にこの軽音楽部があるわけじゃない」を伝えていくことが大切 生徒の自主自律の運営 が部活動の基本

愛知県高等学校文化連盟軽音楽専門部部長
愛知県立春日井高等学校 佐藤大介 教諭

佐藤大介

佐藤大介

名古屋市の教員を経て、愛知県立高校の教員に。赴任した明和高校定時制、瀬戸工科高校、春日井高校定時制で軽音楽部を立ち上げる。2023年度より愛知県高等学校文化連盟軽音楽専門部部長、愛知県高等学校軽音楽連盟委員長を務める。

愛知県立瀬戸工科高等学校（旧瀬戸業業高校）軽音楽部の立ち上げから長年にわたって顧問を務めてこられ、現在は愛知県高等学校文化連盟軽音楽専門部部長の佐藤大介先生に、軽音楽部への想いを語っていただきました。

軽音楽部の設立は大変でした

●顧問としての経歴は…

佐藤…サッカー部や演劇部の顧問を掛け持ちしていたこともありですが、軽音楽部の顧問歴としては14～5年になります。2校で軽音楽部を1から立ち上げる経験をしました。どちらにも軽音楽をやりたいって生徒たちの声に押されて、何とか発表の場を作ってあげたいと思って設立に関わりました。しかし、定時制高校では何の問題もなく設部できたのに比べて、全日制の、しかも工業高校での立ち上げは大変でした。少子化もあってクラス数が減少していた時期で、部活動の飽和が起こって廃部になるとか数を減らしていく

●どうやって説得されたんですか？

佐藤…少ない生徒の取り合いなので、特に吹奏楽部の先生や運動部の先生方からは、必要ない、作られては困る…と、プレッシャーが強かったのですが、半年ほど「規約にありますよ」と言い続けていたら、校長先生が折れ、生徒会主任も折れ…同好会ができました。それでも、部活動への昇格に関する規定を様々に変更してまで反対され続け、部になるときも入部予算の割り当ての規定を変えられて…もう廃部にする気満々でした（笑）。しかし、立ち上げの時のメンバーの設立・存続へのエネルギーがとて強かったので、何とかうまく回っていききました。

県内大会を保障するために組織化

●愛知県は組織化が遅かった…

佐藤…軽音楽部が新しく立ち上がった学

●なぜそこまでして設部を…

佐藤…当時の工業高校は校則も厳しく、力で押さえつけるような指導が当たり前だったもので、そんな風潮と一線を画したかったというのがあります。毎日のように「軽音楽部作りたいです」「どこでやれますか」と私のところに来る生徒たちが可愛くなっちゃって、当時は彼らを何とかしてあげることが自分のやるべきことだと思っていました。その頃のモットーは「自主自律の部活動運営」で、部活動は自分たちのものだろうと、言われたからやる、言われたことをやるではなく、自分たちで責任を持って決めて、自分たちで考えて行動しよう、それは好き勝手にやって良いということではなく、自分たちを律することも必要だと話していました。

多くの学校に普通にある部活動に

●顧問は何を教えれば…

佐藤…技術的なことは必要ないと思います。生徒たちに「当たり前」にこの軽音楽部があるわけじゃない」ということを伝えていくことが大切です。各々がいい加減なことをし始めるとあつという間に崩壊して部がなくなってしまうかもしれない、先輩たちの「音楽がしたい」という強い気持ちがあったからこそ先生方が協力して今がある。そういった人たちの想いを引き継いで良い伝統を後輩に伝えていって欲しい…と、よく話しています。顧問が変わったとしても、軽音楽部が変わらず継続していけるような意識を各自が持つていて欲しいですね。

●今後の軽音楽部は…

佐藤…多くの学校に普通に軽音楽部がある、という状況になれば良いなと思います。現在はやはりまだ、他の部活動から迷惑がられる存在だったりすることもあると思うので、そういったこともなく、どの学校にも軽音楽部があるのが普通という時代を作るために今後も頑張っていきたいと思っています。今年度から赴任する愛知県立春日井高等学校には現在軽音楽部はないのですが、着任式で春日井高校の歌を作って歌って、「専門部役員クビになるかも」と言ったら3名の生徒が入部希望で来てくれました（笑）。創部？3校目になりそうです。



部の会長から各校の校長へ直接大会や総会の案内を送れるので、今までお付き合いがなかった学校とのやり取りも急激に増えました。経験の少ない顧問の先生方にも「自分も軽音楽部の顧問なんだ」という意識が芽生えていってくれることを期待しています。また、12月に三重県で行われる全国高文連の研究大会で、愛知県軽音楽専門部がオリジナル楽曲作りに関する報告を、軽音協がワークショップを開催してくれそうです。さらに、当専門部では軽音協や音楽専門学校にお願いしてオリジナル楽曲制作講座を年2回開催したり、加盟校に推奨しています。最近ではオリジナル楽曲を作る学校も増えてきているので、今後も力を入れていきたいと思っています。

●オリジナル楽曲を作る意味とは…

佐藤…生徒たちが一生懸命悩みに悩んでいる姿が微笑ましく、また嬉しく思います。瀬戸工科高校の例ですが、かつてはメンバー間での仲違いが絶えなかったのですが、大会にオリジナル楽曲で出場したりする先輩たちが出てくると、そんなことができるんだと全体的に部活動へ向かう意識が変わったように思います。自分たちの部活動を大切にしていくなだと、変化を感じ取れるようになってきました。メンバー同士時間をかけてやり取りをして、時にはぶつかっているのだけれど、良い人間関係を築いていける部活動になったなと感じます。

令和6年度「第36回全国高等学校文化連盟研究大会三重大会」において、愛知県高等学校文化連盟軽音楽専門部が実践発表！

文化庁と全国高等学校文化連盟が主催する「研究大会」は、各都道府県の関係者が一堂に会し、日頃の文化指導致の成果や課題、組織運営についての発表・研究協議がなされる場です。36回目を数える令和6年度の三重大会では、愛知県高等学校文化連盟軽音楽専門部の副部長であり、名古屋立名東高等学校教諭／軽音楽部顧問の本羽剛人先生が登壇し、「軽音楽部に期待される教育的意義／オリジナル楽曲制作という独自性に立脚して」と題して実践発表を行います。また、その後開催されるワークショップでは、当協会から辻伸介副理事長が参加者の皆さんと共に実際に楽曲創作をしていきます。

予定
第36回 全国高等学校文化連盟研究大会三重大会
主催：文化庁
公益社団法人全国高等学校文化連盟
日程：令和6年 12月5日 10:00～17:00
12月6日 9:00～12:20
場所：四日市市文化会館
三重県四日市市安島2丁目5-3
参加費：未定
URL：https://mie-koubunren.org

部活動を考える

「軽音楽部も教育の一環なんだ」という顧問の先生方に共感しました

部活動を通していかにか 生徒を育ててるか

井坂秀一

神奈川高等学校文化連盟軽音楽専門部前会長
神奈川県立柏陽高等学校前校長

井坂秀一

茨城県出身。国語科。民間企業勤務後、教員として41年。その間、県教育委員会勤務10年、校長10年、神奈川県立学校長会長、第11期中央教育審議会委員等。好きな言葉は「教育は指導力より人間力」。昨年度から神奈川県立保健福祉大学特任教授。

● 神奈川高等学校文化連盟軽音楽専門部
会長、神奈川高等学校軽音楽連盟会長
をはじめ、全国高等学校軽音楽部連盟会長
を兼務され、校長先生としても多忙を極め
る井坂校長先生に軽音楽部への想いや考え
を伺いました。

見て見ぬ振りはできませんでした

● 軽音楽部との関わりを教えてください。
井坂：平成22年度に神奈川県立瀬谷西高
等学校に校長として赴任した時、当時は
まだしっかりした部活動とはいえないなかつ
た軽音楽部の顧問だった富永先生（現神
奈川県立港北高等学校軽音楽部顧問）が、
軽音楽部について熱心に語ってくれて、た
まに練習を見に行ったりしていました。特
に軽音楽部だからというわけではなく、
私は生徒が何かに一生懸命に取り組む姿
勢を大事にしており、富永先生も熱心に
軽音楽部を「部活動」としてまとめよう
としていたので、できるだけのことしはし
てあげようと思ったのがきっかけです。

応援団から始まったんです

● 軽音楽部のイメージは悪かった？
井坂：私の若い頃は誰もがエレキ・ギター
を買う時代で、実は私も昔ギターを持つ
ていました。すぐにホコリをかぶっちゃ
いましたけどね（笑）。でも、聴く方は嫌
いじゃなかったの、ビートルズのアル
バムも全部持っており、ロックも聴いて
ました。なので、特にイメージが悪いと
いうことはありませんでした。実際に合
同演奏会や大会などに足を運んでみると、
生徒が一生懸命に演奏していたり、橋先
生（現神奈川県立弥栄高等学校軽音楽部顧
問）や齋藤先生（現相模女子大学高等部
軽音楽部顧問）、小松先生（現神奈川県立
厚木高等学校軽音楽部顧問）などの連盟
役員の先生方と話をするようになり、やつ
との思いで連盟を立ち上げて、高文連の専
門部も設置されて…といった経緯を聞き、
頑張っておられていることを知り、とて
も見て見ぬ振りはできませんでした。

生徒を伸ばすためにどう接するか

● 今春、スポーツ庁の
方から「運動部活動の
在り方に関する総合的
なガイドライン」が発
表され、それに続いて
文化庁でも検討会議が
設置されました。
井坂：はい。今年度内
には発表されるよう
ですね。軽音楽部に限
らないことですが、部
活動のあり方を見直す
時期なのでしょう。軽
音楽部はメンバー同士
で意見を出し合い、ぶ
つかり合いながらも演
奏をまとめていたり、
オリジナル曲を作った
りしています。部活動
は日々の活動を通して
リーダーシップや協
同性といった社会に出
る時に必要になる力が
身につくものです。そ
れが「教育」なんです。

● 井坂校長のように理解のある方ばかり
だと良いのですが…。
井坂：軽音楽部はまだ学校関係の世界で
は印象があまり良くないのは事実です
が、神奈川県連盟の先生方は、もちろん
それまでもちゃんとされてきましたけど、
例えば、書類の提出などが遅くならない
ようにとか、会計とかも含めて組織とし
てしっかりするように…など、軽音楽部
だからとナメられないようにしようとい
うことは言っていました。少し厳しくやつ
た時もあったので、彼らも煙たがって
たかもしれないですね。しかし、まず自
分たちから「軽音楽部も他の部活動と同じ
だ」というプライドを持って、意識の高
い位置でやつて欲しいという思いがありま
した。いろいろ周りから思われてしま
う軽音楽部ですが、冗談じゃないと、先生
方はこんなに熱心にやつているんだぞと、
生徒たちはこんなに一生懸命に取り組ん
でいるんだぞ、ということをお伝えたい
ですね。最初は応援団から始まったん
です。私は行政に10年くらいいて、様
々な知り合いも

ブレずに続けることが大事

● 全国には頑張っている顧問の先生方が
たくさんいらっしゃいます。
井坂：確かに軽音楽部はうるさくて、イ
メージも良くないかもしれません。だ
かこそ、学校に「こんなに真剣に取り
組んでいるのなら」と思わせなければ
なりません。もちろん、勉強もおろそかに
せず、挨拶もきちんとできるとい
うことも大切ですが、しっかりと部活
動として活動することを続けていた
だきたいです。これはどの部活動でも
同じですが、やはり最後の顧問の指
導方針がものすごく重要です。運動部
でも技術指導ができない先生はたく
さんいらっしゃいます。しかし、技術
指導はあまり関係なく、「生徒を伸ば
すためにどう接していくか」を考
えていけば良いのだと思います。で
きる限り、より多くの合同演奏会に
参加している間に、生徒自身が刺激
を受け合っている間に、長していき
ます。

「語り」になつて欲しい

● 昔、バンドや楽器をやっていたとい
う先生が顧問になられている場合、
自分ではあるがゆえに、技術指導を
積極的に行うことがありますが、悪
いことではあるかもしれませんが、
バンドは個人のテクニク合戦ではな
く、アンサンブル（合奏）である
べきで、技術的なことは先輩が後輩
に教えられる良いのです。顧問は
相談役、プロデューサーとして、
軽音楽部を「部活動」として動かす
のが役割だと思います。
井坂：そうですね。いや、素晴らしい
ですね！そういうお気持ちで応援
してくださると、とっても嬉しい
です。神奈川県のスタイルが1つの
スタンダード・モデルになればと思
います。

「語り」になつて欲しい

● 軽音楽部は他の部活動と比べて、
歴史が浅いので、今のところ顧問
の頑張りにかかっている状態です。
20年、30年かかると思いますが、
標準的な活動方針のようなものを
しっかりと作って、生徒の自主性
で成り立つ部活動にしたいと思
います。
井坂：私は、何度か大会に出場する
学校の校長先生にメールを送って
いるんです。「自分の学校のバンド
だけでも構わないので、ぜひ見に
来てほしい」と。見に来てもらえ
たり、その後、軽音楽部について話
せるようになったりしていきま
す。軽音楽部はこんなにか
つた部活動なんですと、大きなホ
ールで演奏しているんですと、そ
ういうことも知らない校長先生
もたくさんいるので、私ができ
ることは校長レベルへの宣伝だ
と思います。それと、中学校へ行
った時も「私、こんなこともや
っているんです」と名刺を渡して
います（笑）。多くの校長先生
がちよつとでもどこかで話題に
していただければ、少しずつ理解
が広がっていくのではないと思
っています。



● 軽音楽部は他の部活動と比べて、
歴史が浅いので、今のところ顧問
の頑張りにかかっている状態です。
20年、30年かかると思いますが、
標準的な活動方針のようなものを
しっかりと作って、生徒の自主性
で成り立つ部活動にしたいと思
います。
井坂：私は、何度か大会に出場する
学校の校長先生にメールを送って
いるんです。「自分の学校のバンド
だけでも構わないので、ぜひ見に
来てほしい」と。見に来てもらえ
たり、その後、軽音楽部について話
せるようになったりしていきま
す。軽音楽部はこんなにか
つた部活動なんですと、大きなホ
ールで演奏しているんですと、そ
ういうことも知らない校長先生
もたくさんいるので、私ができ
ることは校長レベルへの宣伝だ
と思います。それと、中学校へ行
った時も「私、こんなこともや
っているんです」と名刺を渡して
います（笑）。多くの校長先生
がちよつとでもどこかで話題に
していただければ、少しずつ理解
が広がっていくのではないと思
っています。

インタビュー・三谷佳之

優勝校顧問に聞く

音楽や楽器の楽しさ、イベントの企画を通じた人とのつながりなどの発見を目指して…

協同性を基盤とした 生徒主体の活動

鈴木愉宇

静岡県高等学校文化連盟軽音楽専門部委員
浜松学芸中学校 高等学校ポピュラー音楽部顧問

鈴木愉宇

1982年浜松市生まれ。2015年に「第1回 静岡県高等学校軽音楽大会」を実行委員長として開催。以降、連盟設立等を経て、2022年4月から2024年3月まで、静岡県高等学校文化連盟軽音楽専門部で専門部長を務める。最近はiri、tofubeats、ぶにぶに電機が好き。

●「第9回 高等学校軽音楽コンテスト中部大会」でのグランプリ受賞、おめでとうございます。受賞したSatuneは、どんなバンドですか？

鈴木：顧問の私がバンドを組むメンバーを決めていた時期もあったのですが、Satuneの世代に関しては、部員たちで話し合いをもらい、バンドを組ませました。この春で3年生になったのですが、1年生の夏休みくらいから続いているバンドで、メンバーの変更もなく、活動しています。

先日の中部大会は「ゲスの極み乙女」のコピーでエントリーしましたが、オリジナル曲も制作しています。他には、Sumikaの「祝祭」をはじめ、キーボードが入っていて、ボーカルの山浦君の声を活かした選曲が多いようです。

●浜松学芸中学校・高等学校への着任やポピュラー音楽部の顧問歴は？

鈴木：2005年から本校で勤務しています。着任した初年度からポピュラー音楽部の顧問を務めています。2002年に前任の先生がポピュラー音楽部を立ち上げたのですが、使用できる部屋が限られていたこともあり、規模の大きな活動はできなかったようです。その後、2005年に私が顧問を引き継ぎ、現在まで続いています。

●貴校ならではのユニークな活動は？

鈴木：本校だけではないと思うのですが、新入生の入部課題として「八の字巻き」を課しています。また、基本的には、どんな新入生でも受け入れたいと考えているのですが、「複数のメンバーでバンドを組む」という軽音楽系部活動の性質上、途中で退部する人を出したくないため、ポピュラー音楽部への入部を希望する「志望理由書」も提出してもらう入部課題を設けています。

●部活動を運営する際の方針や目指しているものは？

鈴木：新入生に向けた部活動説明会では、顧問の私が中心となって話をしています。姿が前面に出ない方がよいのではないかと考えています。例えば、新入生に向けた歓迎ライブは部長が発案して行うとか、「どんな風にバンドをまとめていったり、練習している曲を仕上げていこうか」といったことは生徒が試行錯誤しながら形にしています。顧問の私は機材をメンテナンスしたり、部活動に取り組み際の心構えを伝えることはありますが、なかなか練習の様子を普段から見ることができないのと、練習の様子を覗いても大した指導はできないので…。できるだけ

音楽部の顧問を務めているので、顧問歴も19年目になります。2002年に前任の先生がポピュラー音楽部を立ち上げたのですが、使用できる部屋が限られていたこともあり、規模の大きな活動はできなかったようです。その後、2005年に私が顧問を引き継ぎ、現在まで続いています。

私自身は、大学では軽音楽部に所属していました。ただ、高校生の頃は学校に軽音楽部がなかったのと、Windows 95が発売されて、DTMにも手が届く頃だったので、当時のゲーム音源に触れたりしながらパソコンで音楽を作ってみたり、学内や学外の友人たちとバンドを組んで、演奏したりしていました。家にあったギターを中学生くらいの頃から触ってみたい、「1つの楽器を…」というよりは器用貧乏と言いますか、ギターやベース、ドラムなどをいろいろとやっていました。

●部員数やバンド数、部費などは？

鈴木：現在は2年生と3年生の36名が在籍しています。部費は年間8千円です。外部ホールの利用料であったり、大型機材を新調する際など、学校からの活動費だけでは不足する場合もあるため、部員からも集めています。

●貴校のポピュラー音楽部を言葉で表すと、どんな部活動ですか？

鈴木：顧問の私がこんな感じなので(笑)、あまり芯がない部活動と言いますか、バンドを組んだらチームとしてしっかり活動してもらいますが、全体としては緩やかな協同性に支えられた部活動であると言えます。毎日ミーティングを行ったり、全体練習を欠かさないなど、もっとシステムティックに部活動を構築している学校さんもあると思うのですが、本校の場合は緩やかに、臨機応変に活動しています。個人的には、そのくらいのスタンスにしておきたいと、顧問の教員がいなくて活動が次第に成り立たなくなってしまうのではないかと思っています。部活動の形は変わってきていますが、できるだけ多くの人に関わっていただきながら、生徒にとっても有意義なものとなることを目指したいと思っています。

また、ある競技に取り組んでいた生徒から、もう「●●はやりたくないです」という声を聞いたことがあります。この部活動を通じて、音楽に対してそういった状態になって欲しくないと思います。たとえ短い高校生活の中で大会やイベントで結果が出なくても、何らかの形で音楽や楽器演奏の楽しさ、イベントの企画を通じた人とのつながりなどを発見し、高校を卒業した後も音楽や楽器を身近に感じて欲しいですね。

インタビュー／文・三谷暢之



部活動運営

軽音楽を「部活動」にする時に注意すべき点

近年、軽音楽部を取り巻く環境は大きく変わってきました。しかし、いまだに軽音楽部はうるさい、遊んでいるだけ……といった負のイメージがある中、部活動の現場で生徒や顧問は何をして、何をしない方がいいのか……。軽音楽を部活動にする時の運営方法や注意点を考えてみましょう。

1 軽音楽を理解する

世界三大ポピュラーミュージックといわれるのが、クラシック、ジャズ、ロックです。ロックとは、日本でいうポップスもパンクもアイドルの楽曲もアニソンも含む広義な意味で、現在軽音楽部が演奏している「軽音楽」を指します。誤解が多いのですが、ジャズとロックはアメリカ発祥のブルースから派生した音楽で、理論や楽器の調律法などは同じものを土台としています。クラシックの延長線上にあるものではありません。違いは様々ですが、最も大きいのは「主体性」と「表現」に関することです。

基本的に、クラシック音楽の世界では作曲家と演奏家は区別されていて、演奏者や歌手は楽曲を創作することはありません。演奏者の役割は、作曲家や指揮者の意向を再現することです。また、吹奏楽は演奏する曲目こそジャズやロックですが、指揮者がいて演奏をまとめていくスタイルはオーケストラと同じです。オリジナル楽曲も作りません。

しかし、現在のポピュラーミュージックであるロックは、自分たちで演奏をまとめ上げ、演者自身が楽曲を作る場合もあります。高度な作曲術や音楽理論を知らなくても、自分の思ったことを歌詞にして好きなようにメロディを紡ぎ、メンバー同士で合奏の方向性やよし悪しを決めていきます。それは、既存曲をコピーする場合も同様です。

また、演奏を披露する場にも違いがあります。ロックのステージにはエンターテインメント性が欠かせません。自分(たち)の伝えたいことをどう表現するのかをメンバー間で話し合い、合奏やステージパフォーマンス

フォーマンスに上げていきます。軽音楽部は、単なる流行や持て余した若さを発散する馬鹿騒ぎではなく、少数者でのチームワーク(協調性)、クリエイティブ(独創性)、エンターテインメント(表現力)といった、これからの日本人に求められるスキルを学ぶ機会がたくさんあります。まずは、顧問の先生がそれらを理解して部員に伝えていくことが、軽音楽が部活動になるための第一歩となります。

2 軽音楽部は「バンド部」でも「ロック部」でもない

軽音楽部は、バンドが集まってできているのではなく、部員がバンドに分かれて活動しているものです。バンドはチームでのコミュニケーションを学び、複数人で何かを作り上げることを学ぶ絶好の機会ですが、それだけが目的なのであれば、それは「バンド部」であり「軽音楽部」ではありません。

3 ライブ本番を目的とせず、日々の練習を大事にする

練習の成果を発表する場がないと生徒のモチベーションが上がらない、人前で演奏することによって気がつくことがある……。それは正にその通りだと思います。目標となる「本番」を行うことはとても大事なことです。しかし、部活動は本来日々の活動で完結しているべきであり、



目的も確認項目も違います。本番という発表の場があるのであれば、当日までのタスクを自分たちでしっかりと作らせ、それをクリアしていつているのかを見守ることが重要です。

一方で、大会に傾倒しすぎることにも注意が必要です。大会は、入賞すれば努力が認められたこととなり、負ければ次へのモチベーションと

4 生徒を守る部活動に

バンドはエンターテインメントです。広い意味でのロック、ポピュラーミュージックを土台とする軽音楽部では、単に歌や

楽器の上達、合奏、楽曲創作……といった対自分な行為だけでなく、「人に伝える」「人に喜んでもらう」といった側面も持っています。そこに、ライブ、パフォーマンス、ステージング、衣装、メイクなどの見せる(魅せる)要素や、音源配布、動画サイトやSNSへの投稿、自主的なライブ活動といった行動やアピール、発信が生まれてきます。それらも社会勉強のうちであり、社会人としてのスキルを学ぶ機会ともなりますが、当然ながら危険も多くなります。

生徒は、学校から一步出たら無防備です。いたるところから「大人」の目が注がれ、良からぬ方向へ誘いをかけられます。楽器を持って街を歩いている高校生は、古いステレオタイプな人からすれば「不真面目な生徒」です。学校(顧問)の目の届かないところで音楽活動はとても危険です。せめて、学校の管理下にある軽音楽部の生徒を「悪い大人」から守ることが顧問の役割です。

例えば、どんなに予防線を張っても、ライブハウスへの出入りはリスクが高すぎます。顧問を通さない活動、校長の許可のないイベント出場もありません。部活動に所属しているながら「活動は個人の自由」というのは矛盾しています。何か問題が起こったらずべて学校の責任になり、廃部や休部といった最悪のケースも覚悟しなければいけなくなります。

同じく、SNSなどへの投稿も、個人のものや学校名を背負ったものはきちんと棲み分けをして、後者は責任者である顧問が管理をするべきです。高校生にデ

5 軽音楽部は「音楽部」ではなく最先端の「文化部」になる

前の項目でも触れたように、軽音楽はエンターテインメントな側面を持つため世間から誤解を受けやすい音楽です。一般的に、クラシック音楽、吹奏楽、合唱、雅楽などの日本音楽は文化・伝統で、ポピュラーミュージックのジャズやロックは「軽」音楽と揶揄され軽んじられています。部活動としても同じ扱いを受けている学校も多いのではないのでしょうか。

しかし、軽音楽も音楽であることに変わりはありません。しかも、電気、電子楽器を使った新しい音楽であり、時代とともにコンピュータ、デジタル、インターネットといった最先端技術を取り込んだ音楽部では、パソコンやタブレットでのDTMソフトを使った楽曲制作、音源制作、ミュージックビデオ制作といった創作活動も行う最先端の文化部です。漫画やアニメ、ゲームなどのように、日本が世界に誇るカルチャーの1つともいえる「けいおん」は、誤解を受けやすい立場だからこそ、部員、顧問の皆さんの理解ある言動が大切なのです。

文・辻 伸介

各大会の終了後に各審査員の感想を聞いてみた！

春の3大会の感想を 大会審査員が振り返る

寒の戻りから春の風が吹き荒れた3月下旬から4月上旬、当協会主催の「高等学校軽音楽コンテスト近畿北陸大会」「同中部大会」「同関東大会」が開催された。各大会ともに参加バンドの飛躍的なレベルアップやクリエイターの高さが際立った。本誌では、各大会の終了後に審査員に率直な感想を伺った。

レベルの高い演奏と層の厚さ

近畿北陸大会は夏は京都府の舞鶴市、春は同宇治市で開催されており、昨年に続き2回目の宇治市開催となる今大会は、アクセスの良さもあって近畿地方の参加が多く、大会主旨の1つの「普段は見れない他県他校の演奏から刺激を受け、交流を広げる」という意味でも有意義な大会となりました。近畿地域の軽音楽部はそれぞれに長い歴史があり、お互いに切磋琢磨しながら全体のレベルをキープしてきました。かつては伝統校とそうではない学校の差が大きかったようですが、今大会では演

奏レベルにおいてはどの高校も良い勝負をしていました。長年の伝統を引き継いでいる学校は先輩からのレレションもしっかりとしていると思われ、その学校らしさが自然に出ているのだらうと感じました。

中部大会は愛知県勢の活躍が目立ち、過去には上位入賞を独占してしまうこともしばしばでしたが、今回は愛知県勢が良くなかったというわけではなく、他県勢のレベル向上の結果だと言えます。愛知県の軽音楽部は成熟度が進み、大会への傾向と対策を練りすぎて、伸び伸び演奏するというよりも加点を狙うような窮屈さや緊張感があつたように感じる一方で、近隣他県のバンドの演奏は一途にメンバー間の意思の疎通を図り、楽しく一体感のある演奏を目指し練習を積み、それを上手に消化できていたように思います。もちろん、今後は入賞者としてのプレッシャーがあると思うので、次の大会では萎縮してしまう可能性もあります。また、愛知県勢が次のステップへ進化するかもしれないので、

次回以降どうなっていくかはわかりませんが、今回、中部大会の開催意義がようやく花開いた大会となったのではないかと感じました。今後も近隣他県の相互交流の場として中部大会が存在することを期待します。

関東大会の特長はオリジナル曲が多いことです。今回もびつくりしてしまうくらい完成度の高いオリジナル曲を披露してくれたバンドも多く、軽音楽部の進化に驚かされました。理屈ではなくハートに届く演奏もあり、特に歌詞への取り組み方は今大会でも素晴らしいセンスを感じました。日本はガラパゴス化している部分も多い国で、音楽そのものよりも歌詞に重きを置きすぎているのは少し残念な気もしますが、それもクリエイティブな一面であり、モチベーション向上になっていのであれば悪いことではないと思います。

一生懸命取り組んでいる姿に
順位付けに興味があるのかと…

コピー曲で臨んだバンドの活躍が目覚ましかったことも見逃せません。今までは、オリジナル曲制作に力を入れていた学校が上位入賞することが多かったため、「やっぱりオリジナル曲じゃないと勝てませんか?」といった質問を受けることもありましたが、バンドアンサンブルの良さや表現力にオリジナル曲かコピー曲かは関係ないことがわかってもらえたと思います。

それぞれに個性のあるバンドが特徴の近畿地域ですが、今回も個性的なオリジナル曲をはじめ、パフォーマンスや楽曲



各大会の結果報告

**令和6年3月28日
第7回 高等学校学軽音楽コンテスト近畿北陸大会**
グランプリ 大阪府立大阪ビジネスフロンティア高等学校 / 大阪オトメ
準グランプリ 奈良育英高等学校 / Gale Blitz
第3位 大谷高等学校 / 真夜中の Morning call
宇治市長賞 (第4位) 京都府立嵯峨野高等学校 / ハロー二世帯住宅
奨励賞 (第5位) 大谷高等学校 / PANDEMIC
奨励賞 (第6位) 近江高等学校 / Créa
奨励賞 (第7位) 三田学園高等学校 / INSOMNIA

審査員
辻 伸介: 特定非営利活動法人全国学校軽音楽部協会 副理事長
濱崎州平: 大阪音楽大学 講師
工藤久利: ビジュアルアーツ専門学校 校長
コメント
ボーカル: 遠藤真人 大阪音楽大学 講師
ギター: 金子友宣 大阪音楽大学 講師
ベース: 中山健太郎 キャットミュージックカレッジ専門学校 講師
ドラム: 矢野邦男 大阪スクールオブミュージック専門学校 講師
キーボード: 小池 敏 キャットミュージックカレッジ専門学校 講師

**令和6年3月27日
第9回 高等学校学軽音楽コンテスト中部大会**
グランプリ 浜松学芸中学校・高等学校 / Satune
準グランプリ 愛知県立明和高等学校 / Buzz-Armadillo
第3位 三重県立津西高等学校 / @ぎゃる
奨励賞 (同率4位) 名古屋立緑高等学校 / band X
愛知県立旭丘高等学校 / エメラルド
三重県立津西高等学校 / ZERO GRAVITY

審査員
辻 伸介: 特定非営利活動法人全国学校軽音楽部協会 副理事長
石垣篤友: 専門学校名古屋ビジュアルアーツ 講師
渡辺智哉: 名古屋スクールオブミュージック&ダンス専門学校 講師
コメント
ボーカル: 村屋光二 専門学校名古屋ビジュアルアーツ 講師
ギター: 鈴木悠介 専門学校名古屋ビジュアルアーツ 講師
ベース: 橋部太樹 名古屋スクールオブミュージック&ダンス専門学校 講師
ドラム: 堀 博貴 元音楽専門学校講師 / プロドラマー
キーボード: 岡島紗央里 専門学校名古屋ビジュアルアーツ 講師

**令和6年4月2日
第4回 高等学校学軽音楽コンテスト関東大会**
グランプリ 神奈川県立相模原高等学校 / せんとらる
準グランプリ 神奈川県立藤沢総合高等学校 / UPs WINGs
第3位 千葉英和高等学校 / 琥晴レド
奨励賞 (第4位) 神奈川県立市ヶ尾高等学校 / Ustar
奨励賞 (第5位) 埼玉県立豊岡高等学校 / Yea!!!
奨励賞 (第6位) 神奈川県立横浜緑園高等学校 / 喰狼

審査員
辻 伸介: 特定非営利活動法人全国学校軽音楽部協会 副理事長
Gajin: 昭和音楽大学 ポップ&ロックミュージックコース 講師
白井健一: 専門学校国際新堀芸術学院 講師
コメント
ボーカル: 佐藤智恵 音楽専門学校 講師
ギター: 岩本浩佳 専門学校東京ビジュアルアーツ・アカデミー 音楽総合学科 講師
ベース: 須賀史明 専門学校東京ビジュアルアーツ・アカデミー 音楽総合学科 講師
ドラム: 木村真己 専門学校東京ビジュアルアーツ・アカデミー 音楽総合学科 学科長
キーボード: 鳥居克成 音楽専門学校 講師

アレンジに凝ったものが多かったのも印象的です。そういった多様性のある幅広いバンドが揃ったこのイベントで音楽に順位をつけなければいけない理不尽さを感じざるを得ませんが、受賞バンドの発表の時に声を上げて喜んだり、泣いてしまう生徒もいたりして、そういった感動を高校生の中に味わえることも大切なのだらうと思います。しかし、自分たちの順位が思っていたようなものではなく落胆してしまうという場面もあり、気持ちはわかりますが、それでも他校の榮譽を讃え、心から拍手を送る姿が見られるようになっていって欲しいと思います。

音楽やバンドに一生懸命取り組んでいる彼らを見ると、順位付けに興味があるのかと逡巡してしまいますが、部活動をする上では目標として大会という存在も必要だと感じます。

レコーディングされた音源に慣れてしまつて、フレーズを上手く弾ければ完結というバンドが散見されました。また、全体的に音色作りが意識されていないことが多かったのですが、入賞したバンドはしっかりとライブであることを意識してダイナミクスがつけられていたり、音作りにこだわりが見えました。演奏技術は拮抗しているのに、今後はそういった部分への意識が鍵になっていくのだらうと思います。また、イントロに力を入れているバンドも多く、とても良かったのですが、ステージアクションが似たような感じになってしまつていたので、その辺りも今後の課題かもしれません。

インタビュー: 辻 伸介

部活動としての軽音楽部の普及&発展に

当協会主催の大会では、軽音楽部の発表の場の創設だけではなく、開催地域の活性化、軽音楽部のイメージの向上、軽音楽部が「部活動」であることの周知、及び認知向上なども開催目的の1つとして掲げています。

今回の近畿北陸大会には松村淳子宇治市長、関東大会には本田顕子文部科学大臣政務官、高橋由紀文化庁参事官付学校芸術教育室長、三谷英弘元文部科学大臣政務官などに来場していただき、私たちの活動と軽音楽を通しての青少年の育成への理解を含め、出演者や会場に応援で来てくれる音楽部員の高校生に対して激励の言葉をいただきました。



▲関東大会では本田顕子文部科学大臣政務官にご挨拶をいただきました



▲近畿北陸大会では松村淳子宇治市長にご挨拶をいただきました

審査員長が語る

部活動の大会としての審査基準

② チームに貢献するテクニク

部活動として求められるもの

軽音楽部の大会における審査項目を4回に渡って考察していきます。2回目の今回は「テクニク」についてです。楽器演奏や歌唱の技術的な習得度は演者に優劣をつける一つの物差しですが、大会は個人戦ではなくバンドとしての団体戦です。求められるものは「チームに貢献する個人力」です。

テクニクは経験度

初心者で入部する生徒が多い軽音楽部では、いわゆる「超高校生級」なプレイヤーに出会うことは稀です。品のない表現ですが、プロの演奏家からすれば皆、どんぐりの背比べです。

そもそも、手が早く動く、リズム感が良い、音感が優れているといったスキルは、かなり先天性、あるいは幼少期に形成される部分が多くあります。そして、そのポテンシャルを楽器演奏や歌唱に活かすには長い時間がかかります。中学生から始めている生徒や上級生の方が上手くて当然です。もちろん、本人の努力次第で習熟度は大きく変わりますが、部活動に「上手い」はどれだけ必要なのかという疑問が生まれてきます。

部活動として求められるもの

やはり、テクニクについてのポイントも、部活動に求められる「合奏力」「協調性」「表現力」といったキーワードが土台にあるべきだと考えます。

楽器演奏に長けたメンバーがバンドの中にいる場合、大きく3つのパターンに分かれます。1つ目は、その生徒が自分のやりたいことを優先しすぎて他のメンバーに負担をかけているケースです。まだ楽器演奏が未熟な他のメンバーを無視して自分が楽しめ、ステージではアンサンブルそつちの自分で自分をアピールすることに夢中になります。

2つ目は、自分が他のメンバーよりも余裕があるため、音楽的なリーダーとなってバンドを牽引し全体をまとめているケースです。当然ながらこの方が理想的で、その生徒にリードされてバンドは全体のレベルや合奏の完成度が向上し、その生徒自身も人に教えることで音楽的にも人間的にも成長していきます。

3パターン目は、音楽歴、楽器歴が他のメンバーよりあるのに何もしていないケースです。実はこれが最も多い事例で、自分はずっとやりやっていますから……という我

審査員が見ていること

我々審査員は、例え派手なプレイや超絶テクニクを見せられなくても、そのプレイヤーが楽器に熟練しているかどうかはすぐにわかります。ここは大きなポイントです。楽器演奏に慣れた人はしっかりとリズムにはまり、1つひとつのフレーズが歌い、良いサウンドになります。すなわち、演奏が音楽的なのです。

当協会の大会はもとより、他の大会でも「将来性ではなく今日のプレイで評価すること」が審査の根底にあります。従って、大会では「演奏する楽曲を弾き（歌い、叩き）こなせる」テクニクがあれば十分なのです。難しいフレーズや速いテンポのフレーズを難なく演奏できているか

も評価の対象ではありませんが、楽曲にそぐわない過度なテクニクやオーバーなアピールは逆にリスクキードともいえます。そう考えると、余裕を持って臨める楽曲選びやフレーズの簡素化も、テクニクの評価にとって大事なポイントかもしれません。

過去に、個人賞をほぼ総ナメにしたバンドが入賞もなかったということがありました。個人の力をチームに貢献させられていなかった残り惜しい例ですが、部活動として個と団体の関係性を学ぶ良い機会になったと思います。ちなみに、次の大会でそのバンドは見事にリベンジを果たしたことを付け加えておきます。

文・辻 伸介



軽音楽部の指導に困っている顧問必見！ 誰でもできるバンド指導のポイント！

アンサンブルが良くなる指導方法

② バンド練習前にしておくこと

全6回に渡ってアンサンブルの指導方法を解説するこのシリーズ。前回、バンド練習は「会議だ」という話をしましたが、スムーズな会議の進行には事前の準備が必須です。会議室（練習場）に集まる前に個人、あるいはメンバー間でしておくこと、議題などを明確にしておくことと貴重な練習時間を有効に使えます。

1、選曲

実際にバンドで音を出す前に打ち合わせしておくべきことはたくさんあります。まずは選曲ですが、軽音楽部の現状では「選曲ミス」をよく感じます。ほとんどの場合、本人たちにとって難しすぎることが多いようです。もちろん、少し背伸びした楽曲に挑戦させることも大事ですが、いくつもの段階を飛び越えた選曲では、意識が合奏に向かうまでに時間がかかってしまいます。難しいところですが、バンド練習が個人練習の場にならないことが最も大切で、各々が自分のことに精一杯になっている状態から早く抜け出せるようにすることが演奏がまとまる近道です。そして、それはオリジナル曲を作っているバンドにも言えることです。

入部したばかりの新1年生には、何曲かの課題曲の中から選ぶといった方法がベストだと思います。課題曲があれば、上級生たちもよく知っているわけなので、先輩後輩のコミュニケーションが取りやすくなるメリットも生まれます。コピー曲の選曲は、各パートの難易度やテンポもチェック項目ですが、ギターやキーボードフレーズと楽器数の違い、ボーカルのキーなども考慮しなければなりません。慣れてくれば自分たちで原曲と違うアレンジにしたりすることもできると思います。初心者はなるべく原曲をお手本として演奏できる楽曲が望ましいでしょう。

2、楽曲の把握

アンサンブルをまとめていくためには、いかに全員が楽曲のことを理解しながら自分のパートの役割を把握・遂行できているかが鍵となります。歌詞、メロディ、コード進行、セクション構成、キー、チューニング、テンポ……といった楽曲構造の共有、感情の動きやドラマの流れ、ダイナミクス、グルーブといった方向性の統一もある程度事前に話し合っておくと実際に音を出す時の指針となります。

3、練習内容を決めよう

会議もバンド練習も、集まってから「今日何する？」という状態では、時間もったいないだけでなく、ゴールへの到達も危うくなってしまう。今日の練習は、メンバーそれぞれが積み重ねてきたものを出し合い、前の会議（バンド練習）からの課題がクリアされている



か、プロジェクトをどのくらい進められているかというチェックが目的です。もちろん、新しいアイデアは歓迎です。部活動である軽音楽部では、生徒たちの自主性を伸ばすことも大きな目的の一つです。実際に演奏がまとまってくることも大事ですが、どう練習を進めているか、進めようとしているかを確認することで成果は大きく変わります。バンド練習の前には必ず「何の練習をするのか」を決め、練習後に次回は「サビを仕上げよう」「キメを合わせる練習をしよう」「音色の確認をしよう」などと申し合わせておく、次の練習までにそれぞれがやってくるべきことが明白になります。

文・辻 伸介

イベントの詳細情報は
こちらからご覧ください



高等学校軽音楽コンテスト

日頃の練習の目標となり、県を越えて、他校の演奏スキルやマナーを学べる大会

第8回 近畿北陸大会	7/31 (水)	会場：舞鶴市総合文化会館 大ホール
第15回 愛知県大会	8/2 (金)	会場：愛三文化会館 もちのきホール
第10回 中部大会	8/3 (土)	会場：愛三文化会館 もちのきホール
第5回 関東大会	8/25 (日)	会場：国立オリンピック記念青少年総合センター 大ホール



KEIONGAKUBUSEMINAR

軽音学がセミナー

楽器の基礎知識から演奏スキルまでパート別に体系的に学ぶことができる講習会



7/21 (日) 会場：昭和音楽大学【GarageBandセミナー】

軽音協プレミアムセミナー

特定分野の知識や実践を専門家から深く学んだり、体験することができる講習会

初歩からきちんと学べるPA講座

音響塾



6/1 (土) 会場：宝塚大学 東京メディア芸術学部

初歩からきちんと学べるドラム講座

ドラム塾



6/22 (土) 会場：宝塚大学 東京メディア芸術学部

KEIONGODOENSOUKAI

軽音合同演奏会

日頃の練習の成果を披露し合い、他校の演奏に刺激を受けることができる演奏会



計画中

第2回 全国高等学校軽音楽部 オリジナルソング・グランプリ

高校生のクリエイティビティや感性を活かしたオリジナル楽曲の素晴らしさを讃える発表の場



募集開始 5/下旬
応募締切 8/31 (土)

軽音楽部を通じた 人材育成の取り組み

音楽II遊びというイメージ。実は理想的な人材育成ツールだった

ひと昔前の軽音楽部と言えば、「不良のたまり場」、「部室はリハスタ代わり」といったおおよそ「部活動」とは言えない状態だった。しかし、軽音楽部こそ今の時代に必要な部活動である事が認識され始めてきた。なぜ軽音楽部は時代に選ばれたのか。

活動内容の違い

VUCA(変動性、不確実性、複雑性、曖昧性)の時代と言われている現代では画一的な考えではなく、多様な考え、行動が求められる。自ら考え、行動し、その時の時の最適解を導き出すことが大切だ。現代における教育のど真ん中を学ぶには：軽音楽部での活動が適している。その理由を知るために、まず、現代の「軽音楽部の姿」を紹介する。

以前の軽音楽部は部員同士でバンドを組み、好きな曲を練習して学園祭で披露というのが定石。それでも「楽しむ」という目的は果たせるかもしれないが、それ以上の発展はない。しかし、近年の軽音楽部は活動の幅が多岐に渡っており、「楽しむ」の範囲を超えた活動が可能となっている。具体例を挙げると……

・バンドメンバー全員での楽曲制作
各パートの技術を習得した上で、自分のオリジナル曲を制作。アレンジはメンバー全員で行ない、他の誰でもない曲を制作する

・目標に向かって活動する

当協会の主催大会を始め、高文連の公式戦や各学校単位の合同ライブ等、現在は「部活動」としての発表の場が増えている。メンバー全員で一つの目標に向かっていくという素晴らしい体験ができる。

・他校との交流

スポーツという所の「練習試合」に相当するのが「合同ライブ」。自ら主宰して他校を呼ぶのもよし、他校主催の合同ライブに出向くのもよし。他校の演奏レベルや運営レベル等に触れ、自らのレベルアップにつなげていく。

・学校代表という意識

公式戦や他校との合同ライブを実施する事により、必然的に「学校代表」という意識になる。言葉遣いや挨拶、礼儀、気遣い。学校を背負っているという意識は本人たちを成長させる。

・制作活動

3年間の活動をまとめた音源や機材が揃ってあればレコーディングすることで、自分たちの活動を後輩に伝え、それが伝統となつて引き継がれる。

揃ってあればレコーディングすることで、自分たちの活動を後輩に伝え、それが伝統となつて引き継がれる。

いかに「疑似社会」を経験しているのだ。更に、それを楽しみながら経験できるのだから……。好きなことをとことん追求すること。軽音楽部の多岐に渡る活動を通して、人生における大切なことを学べるはず。

次回、軽音楽部の活動を更に掘り下げ、人材育成とのつながりを解説していく。正解のない時代だからこそ、自ら正解を作り出せる人材を、軽音楽部を通して育てていきたい。

文・鈴木雅宏

軽音楽部が次世代の教育に 相応しい理由

現代の軽音楽部で経験できることは多岐に渡っており、そこで得られる能力や経験は軽音楽部ならではのものと見える。そしてそれを将来に繋げることができる。

バンドメンバーと音を合わせ、目標に向かって行動することで、「コミュニケーション」を取り、バンドアンサンブルで「チームワーク」を学び、楽曲制作で「クリエイティビティ」を発揮し、ライブや大会に出場することで「エンターテイメント」を学ぶ……。そのすべてが社会に出てから必要とされている能力であり、これからの時代を生き抜くために必要な要素である。そして演奏者である以上、「聞き手を感動させる」ことが必要になってくる。相手が何を求めているかを感じ取り、どうすればこちらから提供できるか：軽音楽部の部員たちは自分たちが気づかな



軽音楽部を応援する サウンドハウス

PLAYTECH

サウンドハウスがプロデュースする楽器の総合ブランド。楽器や譜面台など多数のアイテムをラインナップし、圧倒的なコスパと高い演奏性を実現しています。



※2,000円以上の注文にて
送料無料*
最短即日発送
長期3年保証

ギターアンプ (コンポアンプ)

Roland JC-120 120W ¥132,000

Laney LX120RT 120W ¥79,800
 LX65R 65W ¥56,800

クリーンとドライブの2チャンネルを備えた本格派

ベースアンプ (コンポアンプ)

Hartke HD150 150W ¥79,800
 HD75 75W ¥56,800

ハイパワー、練習に最適なヘッドホンアウトも搭載

Marshall Ampex Fender 等も取り扱いしています

ギター弦/ベース弦

Super Slinky ¥820 1,000種類以上をラインナップ

D'Addario DR
 ERNIE BALL
 Elixir
 La Bella
 Martin & Co EST. 1833

ドラムヘッド/シンバル

REMO 114BA-JP ¥2,180

EVANS REMO
 Zildjian SABIAN
 PAISTE

高いコストパフォーマンスと豊富な種類が魅力のサウンドハウス・オリジナルブランドPLAYTECHシンバル

シンセサイザー・キーボード

全国の軽音楽部で定番のシンセサイザー

Roland JUNO-DS61 ¥83,800
 JUNO-DS88 ¥137,500

YAMAHA KORG 等も取り扱い

マイク (ダイナミックマイク)

SHURE SM58 ¥12,800
 SM57 ¥12,800
 定番のボイカル用、楽器用マイク

AKG D5 ¥12,800
 D7 ¥22,800
 超指向性でハウリングに強いマイク

ミキサー

CP AM802FX ¥12,800
 扱いやすいミキサー
 モノ入力×4、ステレオ入力×2

CP Classic Pro CSP12P ¥39,800
 CSP10P ¥29,800

サウンドハウスの人気No.1パワードスピーカー、パッシブスピーカーもあります

ステージ照明

COB PAR ¥11,800
 30W RGBW COB LED搭載

FX PAR4 ¥11,800
 LEDパライトにストロボ用のSMD LEDを39個搭載

COB PAR FX PAR4

配布校リスト

全国の高等学校 2,040 校の軽音楽系部活動の顧問あてに無料配布しています



現在の配布校リストはこちらのQRコードからご覧いただけます

投稿記事に関するお問い合わせは下記まで

Email info@keionkyo.org
 TEL 045-913-0901

月刊軽音楽部では、部活動や軽音楽部に関する事例発表、問題提起、意見や持論、研究論文からイベントレポートなど、「部活動としての軽音楽部」の運営に携わる顧問の先生方の集合知のハブとして、投稿記事を広く募集し、誌面に反映させていきます。構想だけで文章の形になっていないとか、複数の文章はあるが全体として整理できていない場合、過去に発表した内容をブラッシュアップしたい場合、編集部がいろいろな側面でお手伝いすることもできますので、何かありましたら、お気軽にご相談ください。

投稿記事募集

次号予告
 ※表紙はサンプルです
次号は
5月25日(土)発行

部活動としての軽音楽部を考える



▲アンケートフォーム

Email info@keionkyo.org

約3分で終わる
アンケートにご協力ください

今月の月刊軽音楽部はいかがでしたでしょうか。編集部では月刊軽音楽部の個々の記事に対するご意見、ご感想はもちろん、雑誌全般へのご要望や取り上げて欲しいテーマ、困っていることなどを広く募集しております。顧問の先生方からのご意見、ご感想、ご要望をお待ちしております

今月の新着コンテンツ



バンドのトリセツ

「バンドを組む」ということに対するの心構えなど、軽音楽部を楽しく有意義な活動をしていくためのヒントをご紹介します!



楽器の魅力と役割を知ろう!

軽音楽部に入部したら、バンドでの担当パート選びから始まります。迷っている人はパート選びの参考にしてください!



STEP ZERO

楽器を演奏する前にしなければならないことは、楽器そのものを知ることです。まずはバンドで使用する楽器について学びましょう。

軽音楽部とはどんな部活動なのか、毎日の練習はどんなことをするのか、軽音楽部に入るとどんなものが必要になるのか...など、新入部員必見の定番記事をデジタル版としてアップデートしました。QRコードにアクセスしてお読みください。

右のQRコードから記事を読むことができます



編集後記

三谷佳之

全国学校軽音楽部協会 理事長

人生で3回、新しい時代の夜明けに立ち会うことができた。これらはボクの人生に大きな影響を与えた。1つは1970年代に現れたシンセサイザー miniMOOG。1つは1976年に日本電気が発売した8ビットマイコンコンピュータ(マイコン) TK-80。最後は無人航空機...いわゆるドローンである。

辻 伸介

全国学校軽音楽部協会 副理事長
 ドラマー、元音楽専門学校学科長

春になると、冬眠していた虫や植物が目覚め元気に活動し始めます。中には蜂や熊など厄介な連中もいますが、新入生や新入社員の方々はフレッシュな立ち目で街を闊歩しています。新年度にこれといった変化のない僕には、毎年の花見や庭の雑草との格闘開始な春です(笑)。季節の変わり目、体調にご用心!

三谷暢之

全国学校軽音楽部協会/事務局長

つい先日、春の軽音楽大会が終了したと思ったのも束の間、ゴールデンウィークに突入し、夏の大会や関連イベントの開催が迫ってきました。今年度もたくさんの学校さんにご参加いただけるよう、準備を進めてまいります。花粉症のピーク(僕はヒノキ花粉です)に入ったのか、目がショボショボしてきた今日この頃です...苦笑

鈴木雅宏

湘南ミュージックハイスクール 広報担当、ギタリスト

先日、常連で通っているお店の10周年記念パーティーにて、元教え子と再会。私の講座で始めてベースを弾き(ちなみに美術部)、講座がキッカケで音楽が大好きになった子。ちなみに私のLINEアイコンはこの子が描いた私の似顔絵。



4/28(日)

5/5(日・祝) 12(日) 26(日)

以降随時開催



CONCERT STAFF

RECORDING ENGINEER

ACOUSTIC MEDIA DEPT.

CONCERT EVENT DEPT.

2025年度 八王子校にダンスパフォーマンス科新設!

It all begins here!

DANCER

DANCE PERFORMANCE DEPT.

MUSICIAN

VOCALIST

MUSIC ARTIST DEPT.

コンサート・イベント科 職業実践専門課程

- コンサート制作コース ●コンサートPAコース
- コンサート照明コース ●コンサート舞台コース
- イベント企画コース

ミュージックアーティスト科 職業実践専門課程

- サウンドクリエイターコース ●ヴォーカリストコース
- プレイヤーコース

音響芸術科 職業実践専門課程

- レコーディングエンジニア専攻 ●MAエンジニア専攻
- ラジオスタッフ専攻

ダンスパフォーマンス科 職業実践専門課程(南田校のみ)

- プロダンサー専攻 ●バックダンサー専攻
- ダンス&ヴォーカル専攻 ●コレオグラファー(振付)専攻
- ダンスインストラクター専攻 ●テーマパークダンサー専攻

※2025年度 八王子校新設

日本工学院 ミュージックカレッジ

日本工学院専門学校

日本工学院八王子専門学校



業界全般

アンテナを張り巡らせておくこと!



日本工学院専門学校/日本工学院八王子専門学校

音楽やエンターテインメントにまつわる職業や業界は多岐に渡りますが、一体どんな世界なのでしょうか。今回は求められるスキルや目指す上での秘訣を日本工学院専門学校/日本工学院八王子専門学校 入学相談室の山川先生に伺いました。

— ここ数年、人気のある学科・コースは何ですか?

山川: 近年はミュージックカレッジの「コンサート・イベント科」の入学者が右肩上がりに増えています。コロナ禍の影響もあり、業界が低迷しているにもかかわらず、コンサート・イベント分野に特化したコンサート・イベント科が一番人気です。他学科になりますが、特筆すべき点は「ミュージックアーティスト科」のサウンドクリエイターコースです。ポカロPやアニソンの流行をはじめ、YouTuberやVtuberの台頭もあり、サウンドクリエイターとして「作曲を学びたい」「作品を作りたい」という意思を持って進学する学生が増えている傾向にあります。

— 入学前に、ある程度の演奏スキルや知識は必要ですか?

山川: 演奏スキルや知識も必要になりますが、それ以上に、まずは自分が目指したいと考えている業界はどういう世界なのか、どんな仕事があるのかという「業界研究」や「職業理解」を深めてもらいたいと考えています。本校には、それらの理解をサポートする授業やカリキュラムが揃っているので、安心していただければと思います。

— 音楽/エンタメ業界でニーズの高い、人手不足が叫ばれている職業は何でしょうか?

山川: 近年は、ライブ配信のニーズが増えているので、そういう場面のITやICTのスキルに精通している人が求められています。例えば、「音楽」と「IT」を組み合わせ、新しいプロモーションを展開したり、音楽と音楽以外のものの組み合わせから新しい需要やビジネスチャンス、価値を生み出すなど、「プロデュース

力」やアイデアを実行に移す「行動力」のある人が求められています。

— ここ数年、卒業生の選んだ就職先には、どのような職種がありますか?

山川: レコード会社やプロダクション、レコーディング・スタジオ、コンサート・プロモーター、イベント会社など、卒業生の就職先は多岐に渡ります。就職活動として、何よりも大切なのは先ほどお話しした通り、「業界研究」や「職業理解」です。実際に就職を希望する業種がどんな世界で、どういった業務を手がけているのか。具体的にどんな会社があるのかをリサーチするためにも、これらの理解を深めることが大切だと思います。

— 音楽/エンタメ業界で成功するための秘訣は何でしょうか。3つほど教えてください

山川: 大切なのは「一人でも多くの人に何かを伝えたい」という気持ちや「音楽やエンターテインメントの分野で表現をしたい!」という熱意や意思を持っているか、ということだと思います。

2つ目は、「探究心」です。ここ数年、これまでの流行が繰り返されているところがあり、例えば、最近では80年代のファッションやトレンドが注目されていたり、数年前は90年代や70年代のリバイバルが盛んに行われていたなど、音楽も同じで、そうやって当時の流行がリブしながら、新しい音楽が生まれていると思います。どこかに懐かしいエッセンスが入っていたり、世代ごとにグッとくる要素が盛り込まれているなど、単に「これまでになかった新しいものを作りたい!」というのではなく、きちんと音楽のルーツを辿りながら、現代の作品をブ

ッシュアップすることで、新しい音楽が生まれる...という、これまでを振り返る姿勢が大切ではないでしょうか。また、「あの曲の、あのメロディーがグッとくるのは、こういうことだったんだ!」というようなルーツを探ることも本校のカリキュラムで行っています。「こういう仕掛け(トリック)があるから、大勢の人たちに受け入れられ、盛り上がっているんだな...」という分析や感動を生むための種明かしを探るのも勉強の1つなので、たくさんの音楽に触れることも重要です。

3つ目は、探究心に関連する部分になりますが、これまでになかった新しいものを生み出す想像力...「クリエイティビティー」です。例えば、最近ではYOASOBIのようにウェブ小説に着想を得て、音楽として表現するアーティストが誕生しているように、テレビやアニメに端を発して、小説やマンガだけに留まらず、ウェブの世界だけで表現をしたり、「どうやったら、こんな新しい発見ができるの?」と驚くようなアーティストもいるなど、作品のフックとなるコンテンツやトピックは多岐に渡っています。そういったものを拾い上げる力や新しい発見を見つけられる嗅覚が必要になるのではないのでしょうか。いろいろな分野にアンテナを張り巡らせておくことが、結果として、音楽や自身の活動に良い影響を与えてくれると思います。



▲コンサート・イベント科 学外実習ライブ

エンタメ&クリエイティブの専門学校



VISUAL ARTS

東京 / 名古屋 / 大阪 / 福岡

ビジュアルアーツ・アカデミー

ACADEMY

Akademeia 21st Century

- ミュージシャン
- 声優・俳優・タレント
- ダンス・ダンスボーカル
- ネットタレント・インフルエンサー
- 映像クリエイター (3DCG・VFX)
- テレビ放送・映画スタッフ
- コンサート・舞台スタッフ
- レコーディングエンジニア
- サウンドクリエイター
- 映像音響 (MAエンジニア)
- 写真・デザイン
- マスコミ出版
- 芸能マネージャー
- 特殊メイク

※地区によって教育分野が異なります

大学も専門学校も超える新たな学びの場

音響業界



専門学校名古屋ビジュアルアーツ・アカデミー

相手を敬う気持ちや 社会性が大切です

音楽やエンターテインメントにまつわる職業や業界は多岐に渡りますが、一体どんな世界なのでしょう。今回は音響の仕事について、専門学校名古屋ビジュアルアーツ・アカデミー/ミュージシャン学科兼、音響学科の富永先生に伺いました。

— 音響の仕事全般について教えてください

富永：音響の仕事について、イメージしやすいところで言うと「コンサート」が挙げられます。他にも、お祭りやイベント、トークショーをはじめ、演劇やミュージカルにも音響の仕事があります。要するに、音や声を拡散してはいけない場所には必ず音響さんがいるイメージですね。全体を見渡しやすい客席の中央付近で音響ブースを構えて、音を調整するのが主な仕事なのですが、本番同様か、それ以上に大切な、そこに至るまでの準備や仕込みです。

— 音響の楽しいところや、やりがいを感じる瞬間を教えてください

富永：やはり、いろいろと準備を重ねて、作り上げてきたものがお客さんに伝わった時に、すべてが報われますね(笑)。自分たちが考えた演出であったり、1つのショーがお客さんに伝わった瞬間の反応を見ること。大いに盛り上がった瞬間にやりがいを感じますし、苦労したけれど、やって良かったな…という風を感じる事が多々あります。

というのは、とても大きなアドバンテージになると思います。それに加えて、部活動に所属しているため、みんなで何かを作ったり、目標に向かって取り組んでいく…という過程を高校時代から経験しているのも大きいですね。

— 音響の仕事を続けるのに大切なことは何でしょうか。3つほど教えてください

富永：大前提として、まずはその仕事を好きでいることですね。仕事として捉えた場合、何よりもその仕事が好きで、楽しみながら取り組むということに勝るものはないので、1つでも2つでも楽しいところを見つけて、好きになってもらいたいと思います。

2つ目は、奢らない姿勢です。自分を大きく見せようとか、僕はこんなキャリアを積んできました!というのを見せびらかしたり、それを武器に仕事をしてはいけません。

関連して、3つ目は僕自身も気をつけていることなのですが、年齢やキャリアにこだわらず、敬意を払うこと。年下のバンドマンであっても、お年寄りでも、メジャーなアーティストでも、誰に対しても敬意を払い、感謝する姿勢こそ、仕事を長く続けていく上で大切だと感じています。

— 音響の仕事の大変なところを教えてください

富永：これが音響担当者のメイン業務になるのですが、本番に至るまでの準備が大変です。主催者や出演者、アーティストやバンドと打ち合わせを行ったり、それに向けた資料を作成したり、機材を選定するなど、当日までの準備が主な仕事なのですが、それが一番大変です(笑)。それが最終的にはすべて報われるわけですが、事前の準備を抜かりなくやらなければいけないところが大変かもしれません。

— 音響の仕事は、どんな人にオススメですか?

富永：向き/不向きは人それぞれだと思いますが、やはりサービス精神が旺盛な人や「こんなことをしてあげたら、喜んでくれるかな…?」というのを考えられる人でしょうか。音響の世界にも楽器の演奏ができる人たちがたくさんいるのですが、僕は演奏ができた方が良いと思います。理由としては、先ほども少し述べましたが、相手を思いやるということは、相手の気持ちがわかるということですね。ギターが弾けるのであれば、ギタリストの気持ちがわかりやすいでしょうし、一度でもステージに立って歌ったことがある人は、ボーカリストの心情や要望がわかるものなので、楽器演奏の経験がある



▲仕込図を元に機材を組み上げ、ステージを作ります